キャンピングカーでDIYや旅行を楽しむための専門誌

キャンプカーマガジン

CampCar

MAGAZINE

定価700円

航空情報7月号増刊　2014年5月30日発売
www.campcar-mag.com

2014
July
vol.44

HOKKAIDO
北海道
に行きたい。

キャンプカーマガジン CampCar MAGAZINE
NEWロゴ特性ステッカー付き

今回のキャンプの相棒

サードシートを二の字型にしたことにより リアのラゲッジスペースへのアクセスが容易に

車両価格：4,314,600（税込み）～

SHOP情報

ビークル

TEL：048-927-5678

住所：埼玉県草加市谷塚町1080-18

URL：http://vehicleweb.co.jp/

ビークルが製作する クルマのココに注目した！

ハイエースやキャラバンベースのキャンピングカー製作を得意とするビークル。1981年からキャンピングカー作りを手掛け、これまでフューチャーやクッチェッタなどさまざまなロングセラーモデルを世に生み出してきた。そのビークルが製作するキャンピングカーに共通して言えることは「家具の精度が高い」こと。可視範囲で言えば床や壁と家具の接地面をよく見ると寸分の狂いもなくピッタリ設置されているのがわかる。もちろん、走行中に家具がキシむことはほとんどなく、今回のクルマ旅でいかに緻密で精巧に仕上がっているか改めて実感することができた。

冷蔵庫はダイネットの横に配置。もちろんベッド展開した後でも取り出しは楽。

家具の角はいずれも丸みを帯びており、柔らかな室内雰囲気に。

収納

収納スペースを有効活用するため、後方のシートや家具を両サイドに配置してリアの中央にスペースを取った。これにより長尺物や大きめの荷物の出し入れをスムーズに行うことができ、機能面でも文句なしと言える。

ビークルの新型車 新進気鋭のキャンパー

今回編集部が持ち出したキャンピングカーはビークルが今年3月末に発表したNV350ベースの「リブロ」。

ダイネットはオーソドックスなコの字型でファミリーでの使用も考慮。リブロは同社の「ブロス」と同じ家具を採用しており、サードシートが異なるバリエーションモデルと言える。他にも室内に関して言えば、リブロは中央のスペースを広く活用できるため、荷物の収納や、冷蔵庫が使いやすくなっており、ロングソファでゆったりくつろげるブロスに比べて機能面を重視した作りとなっている。

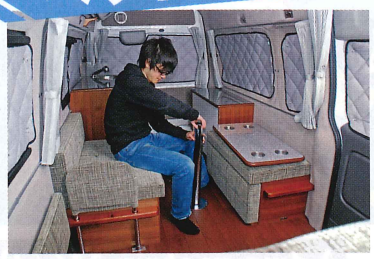
ベッドは、ダイネットベッドとリアの2段ベッドを合わせて大人3名、子供2名分の就寝人数を確保している。

ブロスの室内。家具はリブロと同一。開放感はレイアウトの関係上、リブロの方が上か。

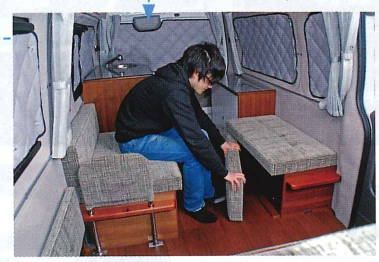
ベッドモード

足元にあったソファを支え棒の上にはめて上から押し込む。

伸縮可能な支え棒3本を腰掛けソファの下にある溝にはめ込む。



テーブルの天板を持ち上げて外し、脚となっている鉄棒を回して外す。



足元にあるマットを取り外す。同時に支え棒を用意しておく。

ASPシートを展開して先ほど展開したダイネットシートに合わせる。

完成!

こちらが完成のメインベッド。サイズは2100×1500㎜でファミリー使用でもゆとりあるスペースが確保されている。

完成!

一見グラつきそうにも思えるがしっかり固定されており実際に上ってみるとその不安が払拭される。

車内上部に固定されているマットを取り外して3本の支え棒の上に2枚並べる。はめ込むときは2枚のマットを写真のように三角形に置き、同時に上から押し込むのがベター。

支え棒の先端のツメを車内サイドウインドーの上にあるフックに引っ掛ける。

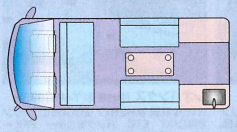
2段ベッドの展開方法は、まず、運転席後方でセカンドシートの横にある収納スペースから支えとなる伸縮可能な棒を3本取り出しておく。

NV350キャラバンベース「リブロ」ドライブインプレッション

抜群の安定性と高速域でのスムーズな走行性

SPEC

ベース車両：
キャラバン スーパーロング標準幅
車両サイズ（㎜）：
L：5080　W：1695　H：2285
エンジン：2.5ℓガソリン
ミッション：AT
駆動方式：2WD
乗車定員：7名
就寝定員：3+2名
水タンク容量：給水10ℓ、排水10ℓ
ベッド寸法（㎜）：
ダイネットベッド：2100×1500
リア2段ベッド：1800×1470
登録ナンバー：8ナンバー



サブバッテリー	○
走行充電	○
外部電源	○
インバーター	△
発電機	—
冷蔵庫	○
電子レンジ	△
FFヒーター	△
TV	△
バックアイカメラ	△
トイレ（P）	△
ベンチレーター	○

今回は高速約300㎞、一般道約40㎞を走行。高速ではスムーズな加速が気持ちよく、ATのシフトチェンジタイミングが、いい意味で早めという印象。引っ張ることなく、トルクで押し出す感が強く、ストレスを感じません。家具の剛性も素晴らしく、きしみ音がないのもストレスフリーに役立っていました。一般道ではナローボディを生かした運転のしやすさが印象的。駐車場やワインディングでも車幅を気にすることがなかったですね。

Reporter
編集 渡辺